

こぶしだより



Vol. 369

2015・5・3発行



セルフ・みらいに来てくれた3人の新メンバーと大歓迎ムードのみらい先輩たちとの1枚です。しっかり者の小菅さん(前列左から:2人目)、元気いっぱいの浅香さん(3人目)、落ち着いたムードの小林さん(中央)。これからの作業や活動日、イベントを通してセルフ・みらいでの生活を楽しんでいきましょう。それぞれが個性を発揮できるようみんなでサポートしていきます。入所、おめでとう。

●特集 / こぶしの会平成27年度事業計画... 2-5

- 400字で語る福祉 【30】 深澤亜希子(上三川ふれあいの家ひまわり) 【30】 由水洋平(けやき作業所) ... 4, 5

● 食道さんぽ

【ほっとスペースひだまり ふくふく亭】... 6-7

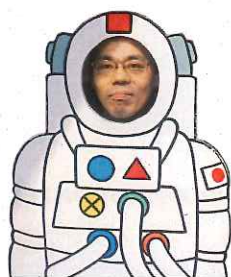
- 報告 / 県東LSC 真岡、上三川ひまわり... 8

● ギャラリーこぶし... 9

● こぶしづかん... 10

● 連載【社会モデルを地域文化に14】... 11

- 事業所一覧 ● ちえぶくろう... 12



「計画は実行してナンボ」。

管理者はエンパワメント（マネジメント力）を發揮する。

それによって、職員は実践の力をつけ、

福祉の専門家としての生きがいをつくる。

…こうして、利用者の願いを実現させることができる。

新年度の一発目の特集は、こぶしの会の事業計画です。3月22日の予算・事業計画の理事会、評議員会直前の運営会議に行き事業計画の概要と思いを聞いてきました。（編集委員 / 菊池・星宮）

（事業計画全体について）高橋常務は、これまでの事業計画は『絵に描いた餅』だったわけではないが、計画を実行に移すための「実行力」、また、それもさることながら実行力をエンパワメントする「マネジメント力」が足りなかったと振り返っていました。

また、計画は実行してナンボと肝に銘じ、各事業やプロジェクトの管理者・責任者は、責任を持って進めていってほしいと言います。さらに、そのためのシステム改革を行い、中でも実行力のマネジメントを図る体制として、今年度設定されている「スタッフ会議」が中核を担うと言います。会議ごとの責任者のマネジメント力に期待がかかる、とのことでした。

ではここで、スタッフ会議について簡単に紹介します（下図①参照）。

願いの実現のために！ ネットワーク&チームプレー

現代社会の変化とともに、障がい者やその家族等が抱える困難さも複雑化し、多様化しています。社会福祉に携わる専門家としては、こうしたニーズに添えていくだけの力量が求められています。マンパワーのみに頼るのではなく、地域の関係機関とのネットワークを構築し、困難を抱えた人を地域ネットワークの協働の力で支えていくことが大切なのです。前述した今年度のスタッフ会議は、利用者の願いを実現させていくための法人内の横断的な中核資源であり、これらを各地域の実践の場で実行し、検証していくサイクルを機能させることが、組織的にも重要なことであり、障がい者・家族の願いを実現することにつながっていくのです。

これから必要なことにはプロジェクトを組んで取り組みます

今年度はさらに、利用者と職員のキャリアアップおよび地域づくりを見通したプロジェクトも設置されています（次ページ②参照）。これらのプロジェクトは既存の事業の強化、新規事業の準備も含め、プロジェクトによる事業、人材、地域づくりを主眼に置いたニーズの実現のための事業になっています。

① スタッフ会議

() 内は議長

1

相談支援会議 (仁平菜々子所長)

- 支援の業務の標準化・評価基準、●手引の作成・見直し、●プログラムの改善、●学習、●研修企画・成果の具体化提案

2

生活支援会議 (中村所長)

- 生活支援の業務の標準化・評価基準、●手引の作成・見直し、●プログラムの改善、●学習、●研修企画・成果の具体化提案 ●文化・余暇活動のニーズ調査、●プログラムと実施体制の企画立案、●ボランティアの組織（担当部会設置検討）

3

就労支援会議 (中見 副チャレンジセンター長)

- 就労支援の業務の標準化・評価基準、●手引の作成・見直し、●プログラムの改善、●学習、●研修企画・成果の具体化提案 ●就労アセスメントの手引作成（暫定利用を含む）

4

経済活動支援会議 (牧岡所長)

- 工賃アップによる所得補償を通じた自立支援

5

活動支援会議 (先瀬所長)

- （重い障害を持った利用者）の活動支援業務の標準化・評価基準、●手引（強度行動障害支援を含む）の作成・見直し、●プログラムの改善、●学習、●研修企画・成果の具体化提案居住支援会議

6

看護・リハビリテーション会議 (並木副所長)

- 健康維持に関わる介護・看護・リハビリテーションの業務の標準化・評価基準、●手引の作成・見直し、●プログラムの改善、●学習、●研修企画・成果の具体化提案

社会福祉法人こぶしの会

創設時の思い

- ・どんなに障がいが高くても利用できる作業所
- ・希望するすべての障がい者が自宅から通って働ける作業所

法人理念

- ①地域社会の発展に貢献し、地域福祉の拠点となる事業経営を目指します。
- ②福祉サービスの最適化を図ります
- ③職員の働きがい、生きがいの実現を図ります

スローガン

- ・困ったをよかったに変えるお手伝い



400字で語る福祉【31】

※職員が400字で思っている「福祉」を語ります。

◎由水洋平さん
(けやき作業所 支援員)



幸せになるために、より良く生きるために。…でもそれは、自分ひとりでは無理なはずで

2013年8月1日、3年かけて行なわれる生活保護基準の引き下げが実施されました。生活保護は生活困窮者の最低限度の生活を保障する制度なのですが…

生活保護基準の引き下げにより困っている人の生活はどうなるのでしょうか？この国の社会福祉制度とは生活の質を維持・向上させる事ではなく、生活の質下げの制度なのでしょうか？

皆さんはアンパンマンを知っていますよね。彼は自分の顔を

犠牲にしても困っている人、飢えている人に食べ物を与えます。なぜ、彼は自分の顔を犠牲にしてまでも人を助けるのか？それはきっと人を喜ばせる幸せ、自分の幸せにつながっているからだと思います。何と福祉的なヒーローなのでしょう。

何のために生まれて何をして生きるのか？幸せになるために、より良く生きるためにそれはきっと自分ひとりでは無理なはずで

す。生活保護基準の引き下げについても国民一人ひとりがアンパンマンのような気持ちがあれば行われなかったのでは？…



●上：新人研修。
●下：102人は社観。全職員研修



の自己実現」を目指しましょう。

高橋常務理事の講義の最後にあった、
○利用者・家族の力を深く知り、組織や地域の力を
知ること、自分自身の力を知ること。
○知っていることができること。実践を分析し、
知識や技術を学ぶことが、私たちができる可能性。
○それは、働く仲間や地域の様々な人たちとコミュニケーションを道具にこころと技をつないでいくことでみんなの力は発揮できる。
○そして、それは職員ひとり一人が自分の目標を決めて、自分と環境の関係をしっかりとつくり計画を立てるところから出発する、
という言葉を、それぞれの現場でしっかりと受け止めて進めましょう。(報告/牧岡健)

こぶしたより新編集長=チャレンジセンター主任の菊地豊さん

【お言葉】語彙もセンスも独創的な発想もない、ないないづくしの私ですが私自身で何かができるわけではありません。それでも、福祉の仕事と一緒に、何をすれば読者の方に読んでいただけるようになるのかを「ない」なりに考えて、編集委員のみなさんと取り組んでいきたいと思っています。私にできることは、人と関わって良いと思う方向性を導きだすようにすること。

こぶしの会も福祉も身近に感じていただけるよう、ゴソゴソとがんばっていきたく思います。そんな私は本当は面倒くさがりなんです。



こぶしたより編集委員会は、新しい編集委員2人を加え新体制でスタートを切りました。

■編集長：菊地豊（チャレンジセンター主任）



- 副編集長：星宮有子（けやきハイツ主任）
- 編集委員：
 - ♥松本祐一（いつの間にか古株。動きある記事担当、関東LSC真岡）
 - ♣北川忠明（ハイテク記者、おらがそば茶屋の第2けやき）
 - ♠渡辺達也（今年も56.7キロ歩担当、セルブ・みらい）
 - ♥富山宏美（裏方の力持ち担当、今年は記事書く？上三川相談）
 - 牧岡健（上手に写真を撮れるようにならなきゃいけない担当 上三川ひまわり）
 - ★NEW!!★阿久津良介（異動とともに編集委員に。けやき作業所）
 - ★NEW!!★布野恵子（無理言ってイラスト担当。こぶし作業所）
 - アドバイザー：矢野正広さん（とちぎVネットのボス）

② プロジェクト () 内は議長

1 児童デイサービスセンタープロジェクト (山崎部長)

3 こぶし作業所跡地利用 (PC・事務センター事業) プロジェクト (吉成センター長)

2 県東ライフサポートセンター移転プロジェクト (仁平博美所長)

4 上三川グループホーム設置プロジェクト (担当未定)

今回は、今年度の法人事業の中核を担う大きな柱を駆け足にご紹介させていただきましたが、無認可の共同作業所からはじまっていたのですが、無認可で、高橋常務の反省弁にもありますように「計画は実行してナンボ」であるこの事業計画を、本誌の読者の皆様にも見守っていただきたく、追跡取材を敢行したいと思います。乞うご期待。

新任職員研修 (第1回) & 全職員研修・事業計画説明会

「利用者の自己実現」を目指す。

4月1日に開催された「平成27年度新任職員研修第1回」と4月25日に開催された「平成27年度全職員研修 事業計画説明会」をレポートします。

新任職員研修では26年度の中途採用の職員と27年度採用の職員がこぶしの会の歴史と、持つべき規範「ソーシャルワーカーの倫理綱領」、さらにこれからあるべき姿を高橋常務の講義で学びました。まさに温故知新!といった内容でした。新任職員のみならず、一緒に頑張りました。

かわって、全職員研修では120余人の職員の

80%超にあたる102人が参加し、事業計画のポイント(白井事務局長)と、事業計画推進の留意点(高橋常務理事)の再確認を行いました。報酬改訂による減収見込みでの船出ではありますが、全職員が一丸となって「利用者



400字で語る福祉③

※職員が400字で思っている「福祉」を語ります。

◎深澤亜希子さん
(上三川ふれあいの家 ひまわり 支援員)



ちょいたしで生きやすくなり、生きがいにつながる

福祉とは…「つながり」「人とかかわり」なのかなと…昔あったような「たくさんもらったからどうぞ」等のやり取りが減ってきているのではないかな。そのやり取りが「おせっかい」「面倒だな」と思うこともあるかもしれないが、そこから見えるお互いの状況があると思う。そのおせっかいがお互いを知り、時には心配し手助けをし、時には安心感が生まれ、孤独感がなくなっていくのではないかな。

「障がい」とはたまたまなってしまうことであり、目が悪いことと同じように誰もがりうること。目が悪ければ眼鏡をし、歩きにくければ杖や車いすを使う等ちょっとプラスすることで生活しやすくなるのではないかな。そのちょっとプラスすることを「つながり」や「人とかかわり」でカバーしていけるといいなと思う。

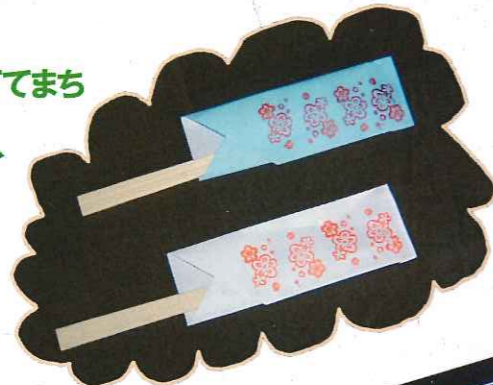
その「つながり」「人とかかわり」が「幸せ」になり、時には「不幸」になることもあかかもしれないが、少なからず「生きがい」にも繋がっていく気がする。

「福祉」、改めて考えるととても難しい…

NPO 法人「ほっとスペースひだまり」が運営している「ふくふく亭」さんに北川忠明がおじゃましてまいりました。

ふくふく亭は平成 22 年 5 月から中華レストランと中華弁当の販売を開始し、現在、レストランは閉店しましたが、中華弁当を企業や大学、市役所などで販売しています。ワンコイン500円で買えるメニューが豊富です。うれしいですね！

「働く場をつくりひとを育ててまちにつなげる」の理念のもと、ケータリングや注文弁当も展開しています。



●箸袋を折る作業もある



●料理長の背中にプロのオーラが...



食道 さんぽ

ほっとスペース ひだまり ふくふく亭 に行きました



今回のお弁当のメニュー

- 酢豚：栃木県産かんぴょうに栃木夢ポークのばら肉を巻いた物を使用。ザーサイと水菜の和え物・春巻・杏仁豆腐

最後に 今回の取材に対応して頂いた施設長の渡辺さんに、アピールしたいことを伺うと「注文弁当をお受けしています！」とのこと。とても美味しい中華弁当。皆様も機会がありましたら、ぜひ召し上がってください。おすすめですよ！ ●注文弁当の伝票⇒



【施設長の渡辺さんにインタビュー】

Q：働いているメンバーは何人？

A：登録メンバーは15人です。常時通っている人は10人ぐらいですね。うち、調理担当は4・5人、販売が2・3人です。その他にもお箸の袋折りをする人などがいます。主に仕込み（飾り切りをできる人もいます）や盛り付け、片付けをしています。（メンバーさんと職員で多い時には120食を作るそうです）

■お料理の特徴は？

料理の内容は地場の物を多く取り入れています。ご飯も県産米、お肉も栃木夢ポークを使用しています。スープも鶏がらからとってます。また、調味料なども天然素材の調味料を使用す

るようにしています。

（今回いただいた酢豚には栃木名産のかんぴょうを栃木夢ポークのばら肉で巻いたものを使ってみました。食感がとても素晴らしくて、お肉の味がしみ込んだかんぴょうが、おいしかったです）

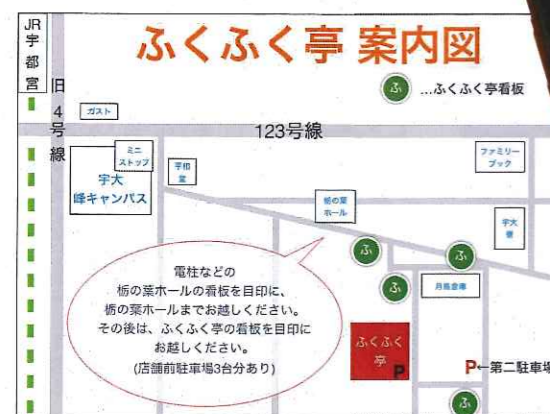
■これからの目標は何ですか？

中華弁当は、毎日食べてもらえるものではないので、ふくふく亭のお弁当を広く知ってもらい、販売先を広げたいと考えています。メンバーさんにもっと色々な作業に参加してもらいたいため、料理の味付けやお客さんのニーズを知るなどの研修や毎日のミーティングを行なっていますよ。メンバーには「仕事の面白さ」を知ってもらおうことが目標です。

■お勧めのメニューは？

マーボー豆腐は5種類用意しています。辛い順に、陳、青唐辛子、四川、塩、お子様マーボーです。「陳」は特に辛いです。

料理長の青木さんは、東京の中華料理店で腕を磨いた方。精神障害を抱えながらも、その腕を存分に発揮して、背中に漂うプロのオーラを感じました。



- 住所：宇都宮市東峰町 3101-60
- TEL：028-666-8693
- FAX：028-666-4569
- 営業日：月～金・祝日・8:30～17:00
- お弁当の注文は前日午前 10:00 まで

GALLERY KoBuShi



こぶし作業所の
くるみボタンアート

こぶし作業所のくるみボタンです。

くるみボタンは、元となる素材を布などでくるんで作られているボタンを言いますが、こぶし作業所ではボタンにクリップやヘアゴムを取り付けた小物の作成をしています。写真は、青虫をイメージしたストラップです。価格は100円から300円までがメイン商品ですが、量産が出来ないためイベントでの限定販売となっています。作業を手伝ってくれるボランティアさん募集してました。(渡辺)

ボタン+クリップ or ゴムの 「変わりくるみボタン」です。

☆作業ボラも募集中!!

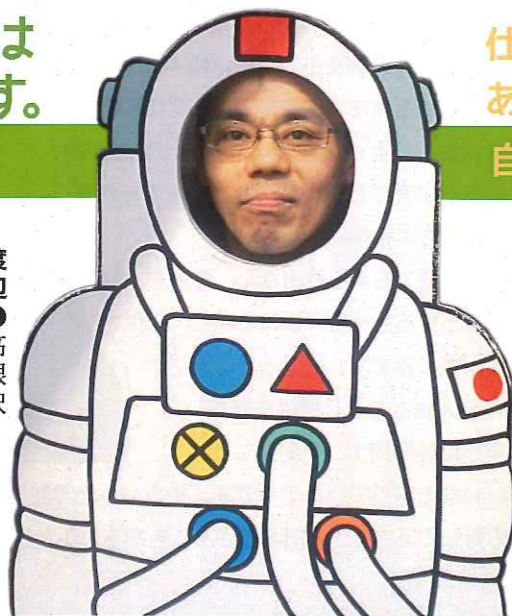
- 取材させて頂いたのは、働サニックス真岡工場にお勤めの上野勝巳さん。現在リサイクル関係のお仕事に就いています。
- ―担当されているお仕事を教えてください。
- 上野●現在はアルミ缶とスチール缶、鉄、プラスチックなどの仕分け作業やカーテンのフックや重りの取り外し作業を担当しています。1日8時間くらい勤務させて頂いています。
- ―作業に当たって無線機を利用しているそうですね。
- 上野●はい。無線機で工場状況を他の職員と確認しながら作業をしています。広い工場なのでとても助かります。そんな中で、休憩室には無線機用の充電器があるんですよ。
- ―通勤はどうされているのですか。
- 上野●自宅から自転車です。近道すると20分くらいです。自転車がパンクしたりすることもありますが、休まず仕事をしています。
- ―お仕事を続けるために気を付けていることを教えてください。
- 上野●安全第一です。重機や

決められた仕事は ちゃんとやってます。

一般就労者の現在

渡辺●高根沢の元気アップ村ですか。ひよつとするとお会いするかもしれませんね。

―ありがとうございます。今後とも体面に気をつけて頑張ってください。(渡辺達也)



仕事で大切なのは「安全第一と、あぶない仕事はしない。自分勝手な仕事はしないこと」

フォークリフトが入り出する工場なので、重機やフォークには十分気を付けています。また、荷造りされたブロックには近づかないようにしています。

―休日の過ごし方を教えてください。

上野●温泉に行ったりリフレッッシュしたりします。元気アップ村によく行くかな。

真岡

あほやけどノリオ 雨やけど満員。 落語って面白い

3月1日(日)、真岡市民会館でダウン症の兄を持つ落語家・露の団六さんをお招きして、「あほやけどノリオ」兄は楽しい？障がい者？と題した落語と講演会を開催しました。激しい風雨の中、たくさんのお客さんに足を運んでいただき、本当にありがたいとございました。落語の後には師匠が作った「漢字の読み方を当てクイズ」で来場者とのやり取りがあり、会場は楽しい熱気に包まれました。

その後、ダウン症として生まれた師匠の兄ノリオさんについての講演。ダウン症についての説明と、家族の一員としての生い立ちや時々のお話等を話していただきました。講演で印象に残った師匠の言葉は、お母様が年老いた時、ノリオさんに「こんな身体に産んでごめん」と何度も言っていた事について、「これは母が思っているのではなく社会が母にそう思わせたのだ、社会がそう言わせた」という言葉でした。本当に考えさせられました。(中見)

報告



上三川ふれあいの家 ひまわり

パン販売に行っている 老人ホームで実習受入れ。 感謝です!!

上三川ふれあいの家ひまわりの就労移行支援事業を利用して清水美里さんは、一般就労を目標に日々パンの接客販売を中心とした訓練に取り組んでいます。清水さんは学生時代にボランティア活動に参加した経験から、高齢者や子供たちと関わる仕事に関心を持っており、そのような仕事に関わることを希望していました。

そんな中、ひまわりのパン販売でお世話になっている、ふじやまの里の荒川事務長に協力をお願いしたところ快く受け入れて下さり、一月にボランティアとして入居者の皆様と関わらせて頂きました。4月にはその際の経験や課題をふまえ、今度は実習生として目標を持って職員の仕事の一部を体験させて頂く予定となっています。ご協力、ありがとうございます。(古谷)

夢は副所長！ 「性格は真面目、作業は正確」で、 一般就職勝ち取りました。

2月9日はとても素敵な日になりました。平成26年7月からこぶし作業所就労移行支援事業を利用していた早乙女学さんが日研総業株式会社小山営業所に就職したのです。得意分野であるパソコンを訓練に取り入れ、身だしなみにも気を使うなど努力を重ねた結果が、2週間の実習で実りました。

「日研総業小山営業所の副所長になる」という大きな



●荒川善昭さん(特別養護老人ホーム ふじやまの里 事務長のコメント)「一般就労を目指す清水さんに対して、ボランティアや実習の取り組みに協力することで、同じ地域の資源として何かお手伝いができればと思っております。清水さん頑張ってくださいね！」

こぶし 作業所

目標を立て、趣味の麻雀やゲーミングセンターで息抜きをしながら、毎日業務に励んでいるそうです。



栃木県医薬品配置協議会中央支部・宮本太郎様から、県東ライフサポートセンター・真岡に今年もご寄付をいただきました。社会貢献事業の一環として県東真岡に7年間ご支援いただいております。長年援助して下さり、本当に感謝しております。ありがとうございます。(仁平)





【こぶしづかん=辛夷図鑑】こぶしの会に生息するゆかいな職員のおすすめの本を毎日ご紹介。

わたしのおすすめの本

こぶしづかん

より良い人間関係構築のための引き出し いっぱいもってます。

現在、**けやき作業所副所長**という立場でありながらパン製造班として現場にも入っている**大木一弘**さん。福祉の仕事をしているとどうしても利用者さんとの関係に目が向いてしまうが、実は職員同士の関係が非常に重要とお考えで、この本を紹介していただきました。

全10話の物語仕立てで、架空の特別養護老人ホームを舞台にして様々な対人援助職に当てはまる設定と事例で構成されており、様々なぶつかり合いを通してみんなが成長していく過程を描いた一冊です。同じ職場で働く仲間同士、よりよい関係を作ることを考えるきっかけになれば…との思いを聞かせていただきました。研修の時から職員が一堂に会する機会がないのがこぶしの会の現状ですが、できれば職員間で集まって余暇を楽しめるような何かをやってみたいな、と最後に話していただきました。行動するとなればツテはいくらでもあるそうなので、希望のある方は頼ってみるといいかも。また、フットサルチームの監督もされているようで、フットサル交流会にも興味を示してらっしゃいました。チャレセンさん、鍛えてもらってみては？



物語で学ぶ 対人援助職場の人間関係 自己覚悟から成長へ
●植田寿之 / 著 ●創元社
●1,800円 (税別)

母ならではの関係づくりで、ぽっかぽか

けやき作業所で生活介護に従事している**竹田雅子**さん。取材の日も忙しそうで、声をかけるのもためらわれたほどでした。そんな竹田さんに紹介していただいた本、もしかしたら聞き覚えのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ TBSの昼枠でドラマ化され、さらに続編放映もされた人気作です。育児と家事に追われて枯れるだけなんていやだ、と型にはまらず天真爛漫に生きていく母親を主人公に、様々な人の目線から物語が展開されていきます。子育て中の人には参考になり、終わった人は懐かしくホッとできるような気持ちが味わえる、そしてこれから子育てという方にはヒントをくれる、多くの人に楽しんでもらえる作品だそうです。

2人の息子さんの母親でもある竹田さん。毎週末、野球の応援に駆け回っているようで「疲れるけど、子供の成長が分かるのが楽しみです」と語ってくださいました。昨年6月の入職とこぶし歴はまだ短いですが、けやき作業所は仲間同士、気配りしあっていてみんな仲がいいなと感じているそうです。そういった雰囲気を作っている要因は、忙しい中でも明るく笑顔で対応して下さった竹田お母さんにもあるのかもしれない。



ぽっかぽか (現在19巻まで刊行中)
●深見じゅん / 著
●YOU漫画文庫

福祉と貧困は、裏表の関係。人と人の尊厳を維持する関係づくりが問題解決の基本。と同時に、人と社会の尊厳を保障する関係づくりも一体のもの

20年前「悩みがない、長寿の民族」だったのが…

社会モデルを地域文化に (連載第17回)
高橋温美 (こぶしの会常務理事)



分は農業にたずさわり、林業と副業にもたずさわり、自給自足の自然経済を主としていたというヤオ族の話聞いたのが1990年代の後半、当時この人々の年収は5000円程度で、月400円前後、現在の日本の貧困線は年収120万円であるから、その240分の1という水準だった。ヤオ族は長寿の高齢者が多いということ知られていて、彼らの長生きの理由は「悩みがないこと」だろうという言葉が印象的だった。この地域でのふつうの生活は、①温暖な気候ときれいな空気、②食物が自然のもので、低脂肪、栄養価の高い食品(トウモロコシの粉と込めのおかゆ、野草やサツマイモ、大豆やいためものが中心)であること、長年の畑仕事で体が鍛えられ、飲酒、喫煙率が少ない、とのことだった。当時、高度成長がはじけ、様々な社会問題が発展し始めたところで、社会の在り方が個人の人生をどれだけ規定してしまうのかというところを強く感じ、個人的な福祉援助の限界性をつくづく感じたのだ。

その後の日本の現実は深刻さを深め、現在、失業率は9%と一時期よりは下がりましたが、生活保護への移行や先進国並みの算定方法で試算をすると欧米並みの20%を超えるものと推定される。高等教育を受けた若者の2人に1人しか安定的な就業生活を送っていない。また、前述の貧困線に至っては全世帯の16%超を占めている。

て、即、子どもの貧困、貧困の連鎖につながっていく。生活保護を受けられないなどで餓死した人たちの数がここ10数年で1.7倍も増加している(2011年厚生労働省人口動態調査では1746人、なんと5時間に1人がなくなっている)。この状況は、大企業の内部留保1.8%増(143兆円から267兆円)、非正規雇用の1.5倍の増加(23%から35.5%)、貯蓄0円世帯2.5倍の増(10%強から28.5%)などと符合している。

グローバル&ローカル 足元から具体的に

90年代の後半は、経済のグローバル化市場化、情報化(金融化)が加速度的に進行した時期。中国南部のヤオ族もその影響はかかるとインターネットで検索してみた。すると、彼女たちの製作する民族衣装などが通販の人気商品となっている。また、海外旅行の人気スポットにもなっているようだ。気になったのは彼らの暮らしぶり。南北問題の1つの典型でもある麻薬汚染が広がっている。

社会福祉問題は貧困問題の裏表の関係にある。人と人の尊厳を維持する関係づくりも問題の解決の基本であると同時に、人と社会の、人間の尊厳を保障する関係づくりも一体のものとして捉えることが必要だ。それも、足元から、具体的に。グローバル

の視点も心に留めておきたい。

傍観者を巻き込む 問題解決の人間関係づくり

問題が起きたときに、人間の態度としては加害者と被害者だけがあるのではない。大多数の傍観者がいるのだ。傍観者とは世の中の制度や規範、大多数の平均的生き方の状況判断をしまい、問題意識が時の流れの中で無感覚状態に陥っていることかもしれない。しかし、自身を振りかえらな、傍観者にして、社会の諸矛盾の中で、傍観を強いられている人なのかもしれない。だからこそ、傍観者を含めた問題解決の人間関係を創る中で、被害者の自立生活をすすめる、ひいては加害者をも救っていくことになるのかもしれない。こうした過程の中でこそ、人間的な感情や人間のみかたも育ちあひ、人間関係を引き裂く仕組みをヒトツヒトツつくり変えながら、地域と自身の改革が実質的に進んでいくのだからと思う。社会(問題)は、地域社会へ向かおうとしない、自分自身の中に存在しているのかもしれない。



こぶしの会事業所一覽

【企画】 社会福祉法人こぶしの会 【責任者】 藤田敬春 【編集責任者】 高橋温美 【編集】 こぶしだより編集委員会
 【発行】 〒320-0919 宇都宮市柳田町1401番地 【発行所】 東京都世田谷区砧6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価50円



- ① 宇都宮市柳田町 1401
 □こぶしの会法人本部
 028-613-3707 (F) 028-666-6128
 028-666-0418 (居住生活支援事業部)
- 第2けやき作業所
 028-680-5937 (F) 028-680-5938
- ② 宇都宮市茂原町 837-1
 □こぶし作業所
 028-653-1020 (F) 028-688-1121
 □障がい者生活支援センターこぶし
 028-613-5703
- ③ 芳賀郡芳賀町祖母井 2244
 □けやき作業所
 028-687-1040 (F) 028-677-5789
 □地域活動支援センター「ほっとCHA」
 090-7820-9165
- ④ 真岡市亀山 1043-23
 □セルブ・みらい
 0285-81-1155 (F) 0285-81-1177
- ⑤ 真岡市荒町 3-9-5
 □県東ライフサポートセンター真岡
 0285-83-2567 (F) 0285-85-8055
 □お菓子工房 ピケ
 0285-81-7091 (F) 0285-81-7092
- ⑥ 真岡市荒町 111-1
 □県東圏域障害者就業・生活支援センター
 「チャレンジセンター」
 0285-85-8451 (F) 0285-85-8452
- ⑦ 真岡市荒町 110-1 市総合福祉保健センター内
 □芳賀地区障害児者相談支援センター
 0285-80-7765 (F) 0285-80-7765
- ⑧ 河内郡上三川町大字上三川 5082-15
 □上三川ふれあいの家ひまわり
 0285-38-6821 (F) 0285-38-6841
 □上三川町障がい児・者生活相談支援センター
 0285-38-6854
 □アトリエ・ド・パン シュシュ
 0285-56-7731 (F) 0285-56-7732
- ⑨ 芳賀郡芳賀町西水沼 438-2
 □おらがそば茶屋
 028-680-5091 (F) 028-680-5092

輪ゴムで不思議

レジャーに出かける機会が増える季節になりました。BBQやピクニックでレジャーシートを広げた時にちょっとの風でめくれたり、飛びそうになったりしてイライラしたことありませんか？実は輪ゴム4本でそのイライラが解消されるのです。方法はいたって簡単。シートの角から6～7センチの所を輪ゴムで結び、結び目を内側に折り込むだけです。風は広い所よりも狭いところを通る時のほうが、スピードが速くなり物を吸い寄せる性質があるので、結び目を内側に折り込むことでシートと地面の間に隙間を作るとシートが地面に吸い寄せられるというのです。一度お試しあれ。



【編集後記】

4月になりました。そば茶屋に移動して一年になります。
 結局、蕎麦打ちは覚えられませんでした。料理は上手くなったのかな・・・なったと思います。
 記事は上手くなったのかな・・・なったと思います。(北川)

最近のお笑い界。個人的には、オリエンタルラジオが好きなのですが、8.6秒バズーカーやクマノミなど新手のお笑い芸人が出てきて面白いですね。これを参考にして作業所

でのネタ作りに挑戦しようかな。(渡辺)

こぶしだより編集委員を仰せつかって、早いもので丸3年になりました。特集を担当することがほとんどでしたが、そのなかでも福島県まで取材に行かせていただいたことは、たいへん貴重な体験になりました。これからも、魅力的なこぶしだよりを皆さまへお届けできるように、ますますがんばっていきたく思います。(星宮)

他人からすると「はぁ？」となるような物事が苦手だったり嫌いだったりすること、ありませんか？ 自分場合は飛行機がそれ。お

かけ様で現在に至るまでは、お世話になったことがございません。そんな原稿を書いている中、絶妙なタイミングでドイツ旅客機の墜落事故…今後も空の旅は回避し続けます。(松本)

気が付くとこぶしだよりの編集に関わって5年もたちました。こぶしだよりもずいぶん変わりました(しみじみ)。今季からは編集長を降りましたが今までと同じようにこぶしだより頑張ります。11月のチャリティウォークに向けて体とチーム作りもやりまひよ。(牧岡)